

地球温暖化対策実行計画事務事業編

第3期 令和3年度 ～ 令和7年度

(2021年度～2025年度)

【計画履歴】

1. 第1期計画 平成14年3月策定
2. 第2期計画 平成20年10月策定

目次

第1章 基本的事項	2
1. 目的	2
2. 対象範囲	2
3. 対象とする温室効果ガス	4
4. 計画期間	4
第2章 温室効果ガスの排出状況.....	5
1. 直近の温室効果ガス排出量.....	5
2. 温室効果ガス排出量の構成比.....	5
第3章 計画目標.....	7
1. 基準年度及び目標年度.....	7
2. 削減目標	7
第4章 目標達成に向けた取組み.....	8
1. 具体的な取組内容.....	8
第4章 進行管理.....	9
1. 推進体制	9
2. 進行管理（PDCA）	10
3. 公表	10
4. 計画の見直し	10

第1章 基本的事項

1. 目的

湯前町地球温暖化対策実行計画事務事業編（以下、「計画」）は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下、「温対法」）第21条第1項に基づき、都道府県及び市町村に策定が義務付けられている事務事業の温室効果ガス排出量の削減の措置に関する計画（地方公共団体実行計画（事務事業編））として策定し、本計画に基づき節電や省エネ等を推進します。

2. 対象範囲

計画の対象範囲は湯前町が行う事務事業（指定管理を除く）のすべてとします。

計画の対象となる施設・設備と公用車は表1、2のとおりです。

表1 計画の対象となる施設・設備

主管課	施設・設備
総務課	役場庁舎 旧南部保育所
農林振興課	畜産センター
建設水道課	折戸水源地
企画観光課	お試し住宅
保健福祉課	保健センター・老人福祉施設 (憩いの家・年輪館)
教育委員会	湯前小学校・湯前中学校 農村環境改善センター 湯前まんが美術館 湯前中央公民館 B&G 海洋センター グリーンパレスグラウンド 学校給食共同調理場

表2 計画の対象となる公用車

主管課	車種・台数
総務課	トヨタ アクア 3台
	ホンダ シャトル 1台
	トヨタ エスティマ 1台
	トヨタ ヴェルファイア 1台
	トヨタ カムリ 1台
	トヨタ ハイエース 1台
	三菱ふそう キャンター 1台
	日産 クリッパー 1台
	いすゞ ジャーニー 1台
農林振興課	トヨタ ヴァンガード 1台
	スズキ ジムニー 1台
	ダイハツ ハイゼットトラック 1台
建設水道課	トヨタ ラッシュ 1台
	トヨタ フィールダー 1台
	日産 クリッパー 1台
企画観光課	ダイハツ ミラ 1台
	ダイハツ ハイゼットカーゴ 1台
	日産 ウイングロード 1台
税務町民課	スズキ ワゴンR 1台
	スズキ アルト 1台
保健福祉課	日産 AD 1台
	ダイハツ ハイゼットトラック 1台
	スズキ アルト 1台
議会事務局	トヨタ カムリ 1台
教育委員会	トヨタ ウィッシュ 1台
	ダイハツ ハイゼットトラック 1台
	トヨタ プロボックス 1台
	日産 キャブオーバー 1台

3. 対象とする温室効果ガス

本計画では、温対法第2条第3項に規定される温室効果ガスのうち、事務事業に係る温室効果ガス排出量の8～9割を占める二酸化炭素(以下、「CO₂」)及び公用車の走行等に係るメタン、一酸化二窒素を対象とします(表3)。

表3 計画の対象とする温室効果ガス

ガス種類	発生源	地球温暖化係数
二酸化炭素 (CO ₂)	化石燃料(ガソリン、灯油、軽油、LPガス等)の燃焼等	1
メタン (CH ₄)	公用車の走行等	25
一酸化二窒素 (N ₂ O)	公用車の走行等	298

4. 計画期間

計画期間は、令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの5年間とします。

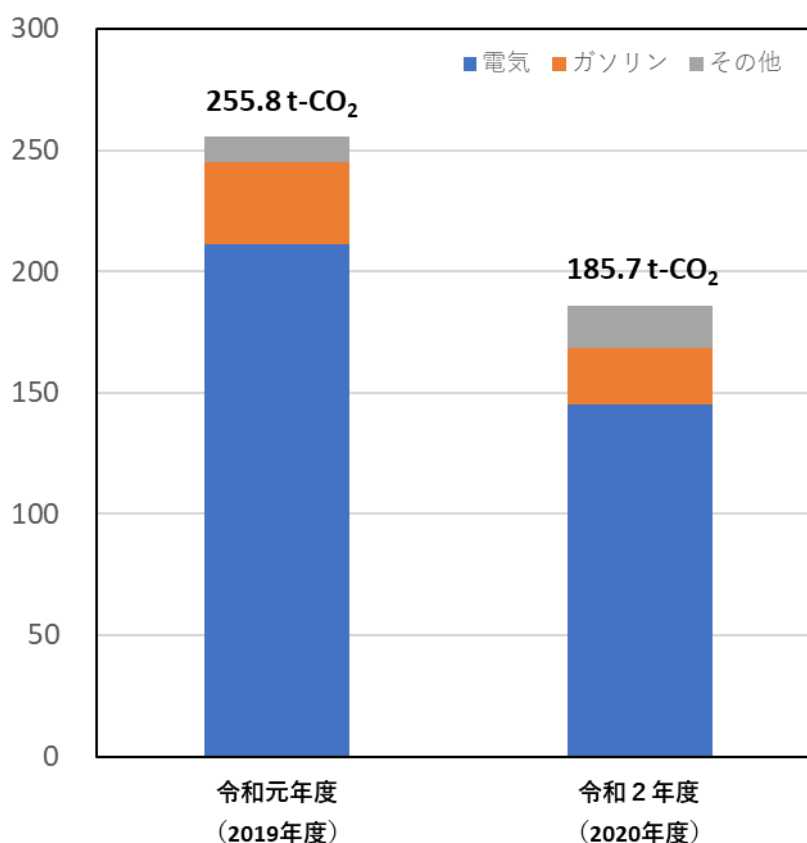
なお、社会情勢の変化や計画の進捗状況などにより、必要に応じて見直しを行います。

第2章 温室効果ガスの排出状況

1. 直近の温室効果ガス排出量

町の事務事業に係る直近（令和元年度（2019年度）～令和2年度（2020年度））の温室効果ガス排出量は図1のとおりです。

図1 直近（令和元年度（2019年度）、令和2年度（2020年度））の温室効果ガス排出量



令和2年度（2020年度）の電気及びガソリン使用量は、令和元年度（2019年度）に比べて急激に減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、町の施設や公用車の使用が例年に比べて大きく減少したことが原因であると考えられます。

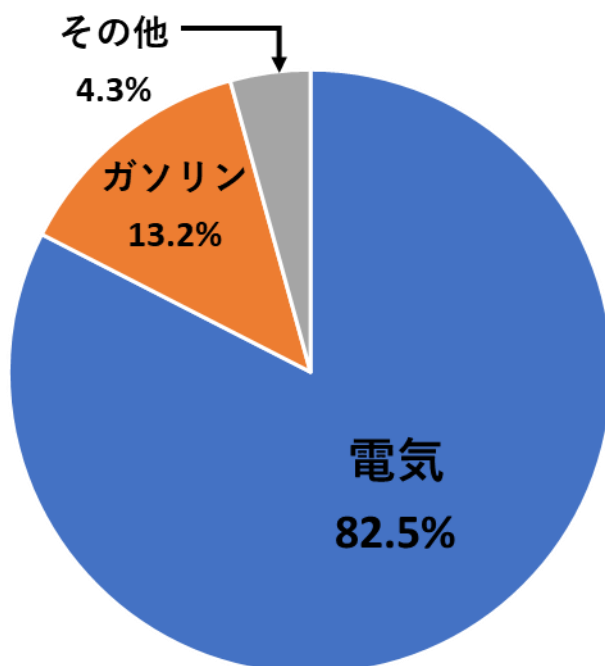
2. 温室効果ガス排出量の構成比

令和元年度（2019年度）の温室効果ガス排出量について、構成比をエネルギー別に見ると、電気の使用に係る排出が全体の82.5%を占めており、次

いで公用車等によるガソリンの使用（13.2%）が多い状況です（図2）。

電気及びガスの使用に係る温室効果ガス排出量を合計すると全体の95%以上を占めていることから、温室効果ガスの排出削減に向けては、施設の省エネルギーの推進、公用車使用時のエコドライブの推進や低燃費車両の調達等が、有効な取組みになると考えられます。

図2 令和元年度（2019年度）の温室効果ガス排出量の構成比



第3章 計画目標

1. 基準年度及び目標年度

町の事務事業に係る温室効果ガス排出量の評価に当たり、基準となる年（基準年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていないと考えられる直近の年（令和元年度（2019年度））とします。

また、目標年度は、国及び県の計画に合わせて令和12年度（2030年度）とします。

【基準年度】 令和元年度（2019年度）

【目標年度】 令和12年度（2030年度）

2. 削減目標

熊本県は、令和3年（2021年）7月に策定した第六次熊本県環境基本計画において、2030年度における県内の業務部門の温室効果ガス排出削減目標を、2013年度比 $\Delta 57\%$ と設定しました（当該目標を県の事務・事業に係る温室効果ガス排出量で換算すると2019年度比 $\Delta 22.2\%$ ）

そこで湯前町では、2030年度の温室効果ガス削減目標を基準年度（令和元年度（2019年度））比 $\Delta 20\%$ とします。

なお、当該目標は計画改定時の温室効果ガスの排出削減の状況を踏まえ、見直しの必要性を検討します。

表4 町の事務事業による温室効果ガス排出量の削減目標

基準年度 (令和元年度 (2019年度))	⇒	目標年度 (令和12年度 (2030年度))
255.8 t-CO ₂		204.6 t-CO ₂ (基準年度比 $\Delta 20\%$)

第4章 目標達成に向けた取組み

1. 具体的な取組内容

電気及びガソリンを使用する設備（照明、空調、給湯、事務機器、車両等）の使用に係る具体的取組を表5のとおり定め、省エネルギーを推進します。

表5 目標達成に向けた具体的取組

項目	具体的取組内容
照明	<ul style="list-style-type: none">・事務室、会議室、トイレ等各部屋のこまめな消灯：全職員・市民サービスに支障がない範囲で昼休みの消灯：担当職員・退庁時の完全消灯：全職員
冷暖房	<ul style="list-style-type: none">・空調の適切な使用（室温目安夏27°C、冬20°C）：担当職員・クールビズやウォームビズの推進：全職員・空調機器フィルターの清掃：担当職員・窓の開閉やブラインド、カーテンの適切な使用：全職員
事務機器	<ul style="list-style-type: none">・外出時PCの電源OFF：全職員・事務機器の省エネモードでの使用：全職員
その他	<ul style="list-style-type: none">・給湯器やポット利用の合理化：全職員
公用車 (全職員)	<ul style="list-style-type: none">・急加速、急発進をしない・無用なアイドリングやエアコンの過度な使用をしない・経済速度（等速での走法や車間距離の確保）運転の励行・不要な物は積載しない・適正な空気圧での使用

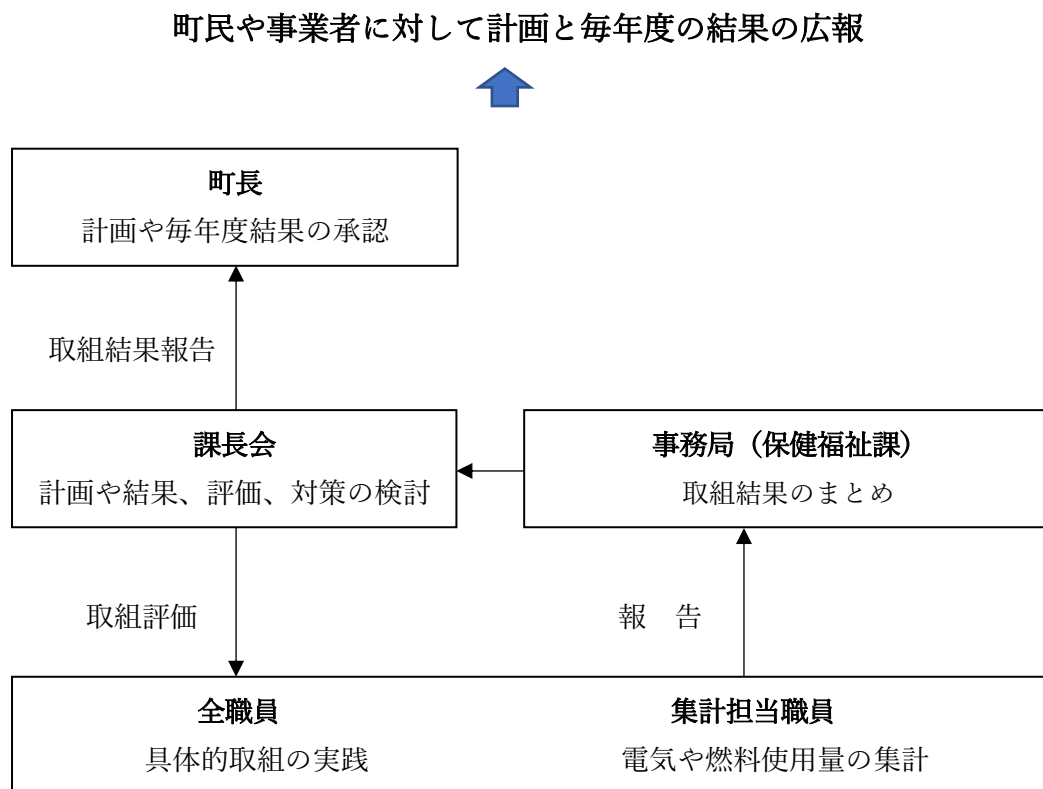
【機器の更新】

設備、備品など調達管理部局により以下のことを行います。

- ① 照明器具のLED化推進
- ② PHEV、EV等の次世代自動車への転換
- ③ 給湯機の電化推進
- ④ エネルギー使用量が大きな設備や機器の洗い出しと更新検討
- ⑤ 太陽光発電設備の設置検討

第4章 進行管理

1. 推進体制



町 長：計画と毎年度の取組結果、評価、対策を承認し、公表することを課長会や事務局に指示する。

課 長 会：計画原案及び毎年度の取組結果、評価、対策について検討し、町長に具申する。

事 務 局：計画更新時に計画原案を作成し、課長会に提出する。
毎年度の取組結果をまとめ、評価し、対策案をまとめる。

全 職 員：業務遂行において、「具体的取組み」を行い習慣化する。

集計担当職員：

電気の集計、自動車燃料の集計のため、集計表を記載し、事務局に報告する。

2. 進行管理（PDCA）

計画の進行管理（PDCA）のため、毎年度の取組結果をまとめ、評価し、次年度に必要な改善を行います。

また、計画期間最終年度までに計画期間内の取組状況を分析、評価し、次の計画期間の新たな目標や取組内容を検討し、計画を改定します。

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
適切な取組み(全職員)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
月使用量集計/報告(担当職員)	■	■										
年間使用量集計(事務局)		■	■									
取組結果報告案作成(事務局)			■									
取組結果検討/具申(課長会)				■								
結果の承認(町長)					■							
結果の公表					■	■						

3. 公表

取組結果は、ホームページや町民向け広報紙等で毎年度公表します。

4. 計画の見直し

計画終了年度（令和7年度（2025年度））の4月までには計画の見直し作業を開始し、計画期間終了（令和7年度（2025年度）末）までに計画を改定します。

(参考1 温室効果ガス排出量集計表)

【 年度】エネルギー使用による温室効果ガス排出量集計表

所属名 【 】

1.エネルギー使用による温室効果ガス (CO ₂) の年間排出量								
分 類	エネルギー使用量			温室効果ガス排出量 (CO ₂ 換算)				
	①使用量	②熱量換算係数	③熱量	④排出係数	排出量 (CO ₂ 換算) (③×④)			
燃 料	揮発油 (ガソリン)	l	34.6 MJ/l	0.0 MJ	0.0183	0.0 kg-CO ₂		熱量 × 排出係数 × 44/12
	灯油	l	36.7 MJ/l	0.0 MJ	0.0185	0.0 kg-CO ₂		
	軽油	l	37.7 MJ/l	0.0 MJ	0.0187	0.0 kg-CO ₂		
	A重油	l	39.1 MJ/l	0.0 MJ	0.0189	0.0 kg-CO ₂		
	B・C重油	l	41.9 MJ/l	0.0 MJ	0.0195	0.0 kg-CO ₂		
	液化石油ガス (LPG)	kg	50.8 MJ/kg	0.0 MJ	0.0161	0.0 kg-CO ₂		
	液化天然ガス (LNG)	kg	54.6 MJ/kg	0.0 MJ	0.0135	0.0 kg-CO ₂		
都市ガス	m ³	MJ/m ³	0.0 MJ	0.0136	0.0 kg-CO ₂			
電気 (九州電力)	kWh	9.97 MJ/kWh	0.0 MJ		0.0 kg-CO ₂		使用量 × 排出係数	
電気 (新電力)	kWh	9.97 MJ/kWh	0.0 MJ		0.0 kg-CO ₂			
⑤熱量の合計値 (③の合計値)			0.0 MJ					
⑥原油換算係数			0.0258					
⑦原油換算エネルギー使用 (⑤×⑥)			0.0 l					
⑧エネルギー起源CO ₂ 排出量 (合計値)					小計	0.0	kg-CO ₂	
2.自動車の走行に伴う温室効果ガス (CH ₄ 及びN ₂ O) の年間排出量								
自動車の種類	総走行距離	CH ₄ 排出係数 (kg-CH ₄ /km)	CH ₄ 排出量 (kg-CH ₄)	N ₂ O排出係数 (kg-N ₂ O/km)	N ₂ O排出量 (kg-N ₂ O)			
ガソリン・LPGを燃料とする普通・小型乗用車 (定員10名以下)	km	0.00001	0.00	0.000029	0.00			
ガソリンを燃料とする普通・小型乗用車 (定員11名以上)	km	0.000035	0.00	0.000041	0.00			
ガソリンを燃料とする軽乗用車	km	0.00001	0.00	0.000022	0.00			
ガソリンを燃料とする普通貨物車	km	0.000035	0.00	0.000039	0.00			
ガソリンを燃料とする小型貨物車	km	0.000015	0.00	0.000026	0.00			
ガソリンを燃料とする軽貨物車	km	0.000011	0.00	0.000022	0.00			
ガソリンを燃料とする普通・小型・軽特種用途車	km	0.000035	0.00	0.000035	0.00			
軽油を燃料とする普通・小型乗用車 (定員10名以下)	km	0.000002	0.00	0.000007	0.00			
軽油を燃料とする普通・小型乗用車 (定員11名以上)	km	0.000017	0.00	0.000025	0.00			
軽油を燃料とする普通貨物車	km	0.000015	0.00	0.000014	0.00			
軽油を燃料とする小型貨物車	km	0.0000076	0.00	0.000009	0.00			
軽油を燃料とする普通・小型特種用途車	km	0.000013	0.00	0.000025	0.00			
ハイブリッド自動車 (乗用車)	km	0.0000025	0.00	0.0000005	0.00			
天然ガス自動車 (乗用車)	km	0.000013	0.00	0.0000002	0.00			
天然ガス自動車 (バス)	km	0.00005	0.00	0.000038	0.00			
天然ガス自動車 (貨物車)	km	0.000093	0.00	0.000013	0.00			
天然ガス自動車 (特種用途車)	km	0.000105	0.00	0.000015	0.00			
自動車の走行に伴うCH ₄ 及びN ₂ O排出量		小計	CH ₄ (kg-CH ₄)	0.00	N ₂ O(kg-N ₂ O)		0.00	
CO ₂ 排出量換算 (CH ₄ :×25 N ₂ O:×298)		小計	CH ₄ (kg-CO ₂)	0.0	N ₂ O(kg-CO ₂)		0.0	
3.温室効果ガスのCO ₂ 排出量 (1.+2.)								
					合計	0.0	kg-CO ₂	

(参考2 取組状況チェックリスト)

湯前町地球温暖化対策実行計画 取組状況チェックリスト

【 年度 月】

所属【 】

項目	取組内容	評価
照明	・ 事務室、会議室、トイレ等各部屋のこまめな消灯	
	・ 市民サービスに支障がない範囲で昼休みの消灯	
	・ 退庁時の完全消灯	
冷暖房	・ 空調の適切な使用（室温目安夏27℃、冬20℃）	
	・ クールビズやウォームビズの推進	
	・ 空調機器フィルターの清掃	
	・ 窓の開閉やブラインド、カーテンの適切な使用	
事務機器	・ 外出時PCの電源OFF	
	・ 事務機器の省エネモードでの使用	
その他	・ 給湯器やポット利用の合理化	
公用車	・ 急加速、急発進をしない	
	・ 無用なアイドリングやエアコンの過度な使用をしない	
	・ 経済速度（等速での走法や車間距離の確保）運転の励行	
	・ 不要な物は積載しない	
	・ 適正な空気圧での使用	

※評価の記入方法

1：ほぼできた（100%） 2：まあまあできた（80%）、3：ある程度できた（60%）
 4：あまりできなかった（20%） 5：ほぼできなかった（0%）、－：取組み対象外